

〔日時：令和6年1月29日（月）19：25～19：55〕
〔会場：WEB開催（事務局：札幌市医師会5階 西ホール）〕

1 開会

【江別保健所 佐々木企画総務課長】

それでは、10分ほど開始が遅れて申し訳ありません。

ただ今から、第12回札幌圏域地域医療構想調整会議を開催させていただきます。

本日は御多忙のところ、御出席をいただき誠にありがとうございます。

また、前の会議が長引き開始時間が遅れまして、大変申し訳ありません。

私、このあと説明に入りますまでの間、本日の進行を担当させていただきます、北海道石狩振興局保健環境部保健行政室企画総務課長の佐々木と申します。どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日の会議につきましては、ZOOMによるオンライン開催とさせていただきます。委員の皆様は、カメラを常時オンにさせていただきますとともに、御発言の場合を除いてマイクをオフにさせていただくよう、お願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、北海道石狩振興局技監兼保健環境部長の山本より、一言御挨拶申し上げます。

2 挨拶

【江別保健所 山本所長】

皆様こんばんは。ただ今紹介されました、北海道石狩振興局技監・江別保健所長兼千歳保健所長の山本でございます。

本日は、大変お忙しい中、札幌圏域地域医療構想調整会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から地域における医療提供体制の確保に御尽力いただき、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

年始めから、能登半島地震という大きな災害が発生いたしました。

各医療機関、関係団体の皆様方におかれましては、DMATの派遣等、被災者への医療支援に御協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

北海道としましても、石川県庁支援のために、DHEATと呼ばれる、医師、保健師、事務員で構成された公衆衛生の支援チームの派遣をしたり、避難所支援のために、保健師、事務職員などを派遣しているところです。

さて、この調整会議は、地域医療構想を進めて参りますために、関係者の皆様方と、必要な協議や情報共有を重ねながら、合意形成を図っていく場として開催しており、本日は、今年度3回目の開催となります。

地域医療構想につきましては、目標年であります2025年が近づいております。

先月には、国立社会保障・人口問題研究所が、2050年の推計人口を公表しておりますが、北海道の人口は、2020年と比べますと、約27パーセント減少する見通しであります。

また、65歳以上の人口は、2040年をピークに減少に転じますが、若年層の減少率が上回り、高齢化率は4割を超えます。人口減少と高齢化の進行は、患者数の減少と、医療ニーズの変化をもたらすと同時に、看護師や看護助手をはじめとする、医療スタッフの確保が難しくなることが見込まれます。そのため、これらに対応した医療提供体制に変わる必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、令和6年度からの医師の時間外労働の上限規制の適用といった状況の変化を受けまして、改めて医療機関の機能分化や連携の重要性が認識されております。

本日は、現在策定作業中の、次期「北海道医療計画」素案の中の外来医療について、事務局から御説明をするほか、「公立病院経営強化プラン」について、市立札幌病院と江別市立病院に御説明をしていただきます。

また、特定労務管理対象機関の指定に係る協議や、個別調整部会では、前回の会議で継続協議となっております2つの病院の給付金事案についても、御議論いただく予定でございます。

限られた時間ではございますが、皆様方には率直な御意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単であ

りますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。
本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【江別保健所 佐々木企画総務課長】

それでは、本日の会議の出席者ですが、委員総数37名中34名の方々に御出席をいただいております。
本来であれば、おひとりおひとりを御紹介させていただくところではありますが、時間の都合上、お手元に配付しております出席者名簿にて代えさせていただきます。

なお、北海道栄養士会札幌石狩支部の榊様におかれましては、小山支部長様の後任として、新たに御就任いただいております。榊様、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、北海道病院協会常務理事の西澤先生には、地域医療構想アドバイザーとしてのお立場でも御出席いただいております。西澤先生どうぞよろしくお願ひいたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の資料は、事前にメール等でお送りしておりますが、会議次第と出席者名簿、次に、資料1と資料2ですが、この二つの資料は、本日18時30分から開催しました連携推進会議で説明した資料と同じものでございます。連携推進会議に出席された方は、そちらの資料を御覧ください。続きまして、資料3-1から3-4、次に、資料4-1から4-5、最後に資料5でございます。

それでは、この後の議事進行につきましては、今議長にお願いしたいと思います。
今議長、どうぞよろしくお願ひいたします。

3 議事

(1) 次期北海道医療計画（外来医療）について

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

皆様こんばんは。議長の今でございます。

オンラインの会議でございますけれども、どうぞよろしくお願ひします。

早速始めたいと思います。概ね30分程度を予定してございますので、スムーズな議事進行をよろしくお願ひします。

お手元の資料の次第、議事の1番目「次期北海道医療計画、外来医療について」でございます。
事務局から説明をお願いします。

【江別保健所 石崎企画主幹】

江別保健所企画総務課の石崎です。よろしくお願ひいたします。

私の方からは、次期北海道医療計画の中の「外来医療」について御説明いたします。

資料1と資料2になりますが、今年度は、令和6年度を始期とします、次期北海道医療計画の策定の年でありまして、現在、3月の策定に向けて、本庁の方で作業を行っているところでございます。

先ほど開催しました「札幌圏保健医療福祉圏域連携推進会議」において、医療計画全体の素案について、御説明をし、意見聴取を行ったところですが、その中の外来医療に関する部分についてのみ、地域医療構想調整会議で御意見をお伺いすることとなっております。

まず資料の1の方ですが、こちらは概要版となっておりますので、後ほど御参照ください。外来医療は、第8章ということになっております。

次に、資料2の方ですが、39ページを御覧ください。

外来医療計画につきましては、今回から医療計画に内包したところでありまして、新たに第8章として章立てしたところでは、

内容としましては、左側の第2節のところ、外来患者の受療動向を始め、診療所に従事する医師の状況、医療機器の保有状況などのデータを記載し、見える化します。

また、右側の第5節のところですが、引き続き、新規開業の際のフォローアップなどに取り組みますとともに、第6節、計画の推進のところですが、令和5年度に、新たに公表することとした紹介受診重点医療機関の公表等、わかりやすい周知などに取り組んでいくこととしています。

また、現行計画にて記載しておりました「地域において不足する医療機能」につきましては、これから圏域ごとに策定します、地域推進方針の中に記載をすることとなっております。

今後、札幌圏域の調整会議の中で、協議をいただくこととしておりますので、よろしくお願いいたします。
以上、簡単ですが、外来医療についての説明は以上です。

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございました。

次期北海道医療計画素案の、外来医療に関する部分について御説明をいただきました。

何か御意見、御質問がございましたら、手を上げるボタンか画面上で挙手をお願いしたいと思います。

御発言の際は、所属の団体とお名前をお願いいたします。いかがでしょうか。

[意見等なし]

現在は、御質問なし、御意見なしということでよろしいですか。

(2) 公立病院経営強化プランの策定について

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

では、続きまして、議事の2番目ですが、公立病院経営強化プランの策定についてでございます。
事務局から説明をお願いいたします。

【江別保健所 石崎企画主幹】

江別保健所石崎でございます。資料3-1をご覧ください。

公立病院経営強化プランにつきましては、7月25日に開催しました調整会議におきまして、概要について御説明をさせていただき、管内の4つの公立病院さんからプランの御報告をしていただきましたが、その時に、まだプラン案ができておりませんでした、市立札幌病院さんと江別市立病院さんから、本日御説明をいただくこととしております。

この資料は、前回御説明しましたので、特に詳しい説明はいたしません。経営強化プランにつきましては、資料の右側の四角く囲ったところを書いてあります(1)～(6)の6項目の内容を盛り込むこととされ、これらの取組により、病院経営の強化を図ることとしております。

そして、プランの内容が、地域医療構想と整合的であることが求められておりますことから、委員の皆様方に、地域医療構想調整会議等での議論や地域での協議内容と乖離がないかなどを御確認いただいて、御意見等をお伺いするものであります。私からは以上です。

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございます。ではまず、市立札幌病院様からの御説明をお願いいたします。

【市立札幌病院 西川院長】

市立札幌病院院長の西川でございます。

皆様には日頃より大変お世話になっております。どうもありがとうございます。

これから、市立札幌病院の公立病院経営強化プランの策定として、市立札幌病院中期経営計画の一部改定について、経営管理部長の山口より御説明いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【市立札幌病院 山口経営管理部長】

市立札幌病院の山口と申します。

それでは説明させていただきます。

本日は、資料3-2と資料3-3の2点をお配りしております。

まず、この背景ですが、市立札幌病院では、「1 一部改訂の背景」のとおり、令和元年度から6年度までを計画期間とする市立札幌病院中期経営計画を策定し、経営強化の取り組みを進めてきたところです。

今回、総務省の要請を受けまして、「2 市立札幌病院における「公立病院経営強化プラン」の策定方針」のとおり、まず、令和5年度中に経営強化ガイドラインに記載を求められている事項のうち、現計画に記載のない事項を追記する一部改定を行います。

そして、現計画と本日配布している資料3-3をあわせた、改定後の計画を、公立病院経営強化プランと位置付けることといたします。

さらに、令和7年度以降を計画期間とする、次期中期経営計画についても、経営強化ガイドラインを踏まえながら策定作業を進めて参ります。

資料中段のイメージ図は、経営強化ガイドラインで記載が求められる事項と、現計画の記載事項の関係性をまとめたものです。このうち薄い網掛けで示した「(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革」の医師の働き方改革への対応と、濃い網掛けで示した「(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」については、現計画に記載がない状況となっています。

このことから、「3 今回の一部改定において記載を追加する取組の概要」のとおり、この改定部分につきましては、まず「(1) 医師の働き方改革への対応」については、医師の業務量把握及び時間外・休日労働縮減に向けた取組や、医師の健康確保に向けた取組を進めますとし、また、「(2) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」については、新興感染症患者の受入体制の整備、感染症専門人材の確保・育成、地域における感染対策の向上、施設・整備の整備に係る検討を行います。

このように記載して、対応していきたいと考えております。説明は以上でございます。

【札幌圏地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございました。

では、このプラン案につきまして、医師の働き方改革への御対応に非常に御苦労されているというふうにご認識しておりますが、何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

[意見等なし]

御意見ないようですので、本プラン案につきましては、調整会議として確認をしたということで策定作業を進めていただければと思います。

続きまして、江別市立病院様、お願いいたします。

【江別市立病院 富山院長】

江別市立病院の院長の富山です。よろしくお願いたします。

江別市立病院では、新公立病院経営改革プランの後継計画として策定した、江別市立病院再建計画の最終年度が本年度でありますことから、国のガイドラインなどを踏まえつつ、令和6年度からを計画期間として、江別市立病院の経営強化プランの策定を進めております。

市立病院の役割や機能を明確にするため、これまでレセプトの受療動向の分析や市民、患者向けのアンケートを行いながら、プランの素案を策定し、経営評価委員会での協議を含めて、パブリックコメントを求め、その受領を終えたところであります。

今後改めて、経営評価委員会や議会などで協議させていただいた後に、3月末までには策定を完了する予定です。

経営強化プランの詳細、素案につきましては、当院事務長から説明してもらいます。よろしくお願いたします。

【江別市立病院 白石事務長】

江別市立病院の事務長白石でございます。大変お世話になっております。

当院の強化プランにつきまして、素案段階ではございますが、資料に基づき御説明いたします。

強化プランの表紙、そして次の次のページにダイジェスト版を掲載しておりますので、これに基づき内容を説明させていただければと思います。

ダイジェスト版となりますけれども、(1) 役割・機能の最適化と連携の強化において、①の市立病院の果たすべき役割・機能として、入院や健診、がん、救急、高齢者医療等を明示しております。

また、③機能分化・連携においては、市内の医療機関や近隣自治体、医療機関との広域連携を含めた、地域医療連携を強化することとしております。主な数値目標については、④に記載のとおりです。

(2) 医師・看護師等の確保と、医師の働き方改革では、医師をはじめとする医療従事者の確保を計画的に進めるとともに、医師の働き方改革を踏まえた対応として、「元気が出る組織づくり」に取り組むこととしております。

(5) 施設・設備等の最適化では、建築後25年が経過し、施設維持のための大規模な改修工事に取り組むほか、昨年1月、電子カルテシステムを更新しておりますが、これを踏まえてさらなる医療DXを推進することとしております。

次に(6)では、経営の効率化等の項目として、①で経営指標の目標を記載しているほか、②では、具体的な取組として、事務職員の育成・確保、人材育成の推進、DPCの最適化と係数向上に取り組むこととしております。

最後に、最下段の点検・評価・公表であります。評価プランの実効性を保つため、引き続き経営評価委員会による点検・評価を実施し、随時必要な見直しを行うこととしております。

なお、先ほど病院長から御説明申し上げましたとおり、この強化プランの素案は、パブリックコメントを終えたところでありまして、今後、経営評価委員会や議会での協議を踏まえまして、3月末までに策定を終える予定でございます。以上であります。

【札幌圏地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございました。

このプラン案について、何か御意見、御質問ございますでしょうか。何かあれば挙手をお願いいたします。

[意見等なし]

ありがとうございます。

それでは、本プラン案、調整会議として確認したということで、策定作業をお進めいただければと思います。

(3) 医師の働き方改革～特定労務管理対象機関の指定について

【札幌圏地域医療構想調整会議 今議長】

次に、議事の3番目、医師の働き方改革～特定労務管理対象機関の指定についてです。

これは医療機関の申請内容が、地域の医療提供体制の構築方針等と整合が図られているかを確認することとございます。事務局説明をお願いします。

【江別保健所 石崎企画主幹】

江別保健所石崎です。

「特定労務管理対象機関の指定」について、御説明いたします。資料の4-1を御覧下さい。

令和6年4月1日から、医師の時間外労働の上限規制が適用されますが、時間外・休日労働が年間960時間を超えることがやむを得ない医師が勤務している医療機関は、申請により、特定労務管理対象機関として都道府県知事の指定を受ける必要があります。指定を受けると1860時間を上限とすることができます。

今回、その申請が、4つの医療機関から提出されました。

資料4-1ですが、特定地域医療提供機関(B水準)の指定申請になります。

B水準の指定対象となる医療機関の該当要件については、資料4-2の方に記載されておりますので、御確認ください。

資料4-1の方に戻りまして、各医療機関の業務の内容ということですが、一番上の札幌徳洲会病院さんですと、(1)の救急医療、二次救急医療機関で要件を満たします。

2番目の市立札幌病院さんですと、(1)の救急医療、三次救急医療機関ですね、それと(3)の地域において当該病院以外で提供することが困難な医療を担っています。

それぞれの医療機関さんからの申請書というのが、資料の4-3になっておりまして、こちらの方、やむを得ず長時間従事させることが必要な理由等を記載していただいております。

こちらは、必ず、事前に評価センターでの受審を経て、道への申請を行っております。

そして、本申請が指定要件を具備していることについては、道庁においても確認済みであります。

次に、資料の4-4ですが、こちらは、連携B水準の申請になります。

北大病院さんから、提出されましたが、連携Bは、他の医療機関に、医師派遣を行っている医療機関です。

派遣先医療機関が325医療機関ということで、延べ人数816人、延べ日数100,839日などとなっております。

資料の4-5が申請書類になりますが、派遣先一覧表なども添付されております。

この場におきましては、各医療機関が、当圏域において「救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う」などの役割を果たして、または、医師派遣が医療提供体制の確保のためには必要など、申請内容が地域の医療提供体制の構築方針と整合的であることについて、御確認をいただきたいと思っております。

続きまして、資料5ですが、こちらは、今後の指定に係るスケジュールについてです。

令和5年度における特定労務管理対象機関の指定申請につきましては、3回に分けて申請を受け付けてきましたが、各医療機関から道への指定申請の状況を鑑み、第4回目の申請受付を行うこととなりました。赤枠で囲った追加と書かれている部分です。

医療機関から4回目の申請があった場合、道の指定スケジュールに沿って会議を開催するとなりますと、次回は2月末までに開催しなければならず、会議の開催が実質的に困難であります。

現在のところ、1件申請書が提出される予定ですが、提出された時点で、今議長と協議し、特段問題ない内容であれば、書面開催とさせていただきたいので、御了承いただければと思っております。

私からの説明は以上です。

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

1件の申請は協議をさせていただいて、書面開催とさせていただく予定でございます。

さて、医療機関の申請です。札幌徳洲会病院、市立札幌病院、北海道立子ども総合医療・療育センターからのB水準の申請です。

北大病院から、B水準と連携B水準の申請が提出されているということでございました。

この件に関しまして、なにか御意見ございますか。

[意見等なし]

ありがとうございます。特段問題なしということで、確認をさせていただきました。

次に、次回の会議の開催方法についてですが、第4回の申請につきましては、問題ないとされた場合には書面開催とさせていただきます。よろしく申し上げます。

(4) その他

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

最後にその他、事務局何かございますでしょうか。

【江別保健所 石崎企画主幹】

今後の会議のスケジュールについての御連絡です。

次回の会議につきましては、令和6年度の紹介受診重点医療機関に係る協議がありますことから、年度内の開催を予定しております。

国からの外来機能報告データの提供があり次第ということにはなりますが、今のところ3月中旬から下旬の開催を予定しております。以上です。

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございます。

それでは、アドバイザーの西澤先生、何か御意見、感想等ございましたらよろしく申し上げます。

【北海道地域医療構想アドバイザー 西澤先生】

今日の議論の範囲内では特にございません。以上です。

【札幌圏域地域医療構想調整会議 今議長】

ありがとうございます。

以上で、調整会議の議事進行を終了いたします。

30分で終わらせていただきましてありがとうございます。

事務局にマイクをお返しします。

4 閉会

【江別保健所 佐々木企画総務課長】

今議長、ありがとうございました。

以上をもちまして、第12回札幌圏域地域医療構想調整会議を終了いたします。

皆様、本日は、ありがとうございました。

なお、個別調整部会委員の皆様は、このあと第17回札幌圏域個別調整部会を開催いたしますので、引き続き御出席をお願いいたします。同じ回線を使用いたしますので、そのまま退出せずに少しお待ちください。出席をされない方は御退出をお願いいたします。

お疲れ様でした。ありがとうございます。